

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	リーディング・フォー・コミュニケーション				
担当者氏名	ビル ロッケンバッハ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

多くの新聞記事、エッセー、広告など、様々な英文を読み、その英文の意図を汲み取る。著者が使う文章テクニクを分析した上、文章やプレゼンでその活用を考える。

注：「学年 = 1年」になってはいるが、本講座が「英語」と「英語」よりも多少高い難易度の内容となるので、相当高い英語力（文法の習熟度、聞き取り力など）が求められる。

《授業の到達目標》

多彩な読み物の趣旨、そして、著者がその趣旨を伝える手段としての文章の展開方法を理解できるようになる。

《成績評価の方法》

- ・ 授業への参加姿勢（受講態度）...20%
- ・ 平常点（小テスト、提出物）...40%
- ・ 期末テスト...40%

《テキスト》

未定

《参考図書》

未定

《授業時間外学習》

予習として、その授業のトピックとなる背景を調べておく。復習として、授業で使われる文章の単語の意味と各文の構成を確認する。

《備考》

「授業計画」は「Interactive English Book for Reading」(内田雅克、他。松柏社。ISBN978-4-88198-666-0)をテキストとして使った授業の展開例です。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	健康(Health)	第1章 長寿の秘訣(Unit 1: Old Friends and Wine are Best)
2	買い物(Shopping)	第2章 博多人形(Unit 2: Hakata Dolls)
3	スポーツ(Sports)	第3章 ボクシング(Unit 3: On the Ropes)
4	旅行(Travel)	第4章 人気の観光地(Unit 4: Engines of Growth)
5	美術とデザイン(Art & Design)	第5章 日本人の美的感覚(Unit 5: The Sense of Beauty in Japan)
6	自然(Nature)	第6章 地方での生活(Unit 6: In the Back of Beyond)
7	社会問題(Social Issues)	第7章 長崎(Unit 7: Nagasaki)
8	ジェンダー(Gender)	第8章 日本の男性社会(Unit 8: It's a Man's World -- in Japan)
9	娯楽(Entertainment)	第9章 世界中、人気が集まるJポップ(Unit 9: J-Pop and the World)
10	比較文化(Comparative Culture)	第10章 個人意識と集団意識(Unit 10: Group Consciousness vs. the Individual)
11	科学(Science)	第11章 遺伝子組み換え食料品(Unit 11: Genetically Modified Foods)
12	環境(Environment)	第12章 電気自動車(Unit 12: Plugged In to the Future -- The Electric Car)
13	睡眠と夢(Sleep & Dreams)	第13章 睡眠(Unit 13: Sleep)
14	好み(Taste)	第14章 コーヒーですか、紅茶ですか(Unit 14: Coffee or Tea)
15	生物多様性(Biodiversity)	第15章 地球上の生命(Unit 15: Life on Earth? )